

砺波カイニヨ倶楽部会報

平成 19 年 6 月発行 発行者 砺波カイニヨ倶楽部 代表幹事 柏樹直樹
事務局 富山県砺波市表町 7-25 電話 0763-33-6588 天野一男建築工房内

「カイニヨづくりの提案・実行」等をやろう

～発足会場の浄光寺で総会～

5 月 20 日（日）午後、浄光寺（砺波市東保）でカイニヨ倶楽部総会を開いた。10 周年を迎えた節目として発足会場の浄光寺御堂でおこなった。19 名が参加して活動計画や新役員を選出した。

その後、散居村ミュージアム館長・砂田龍次氏の記念講演と吉沢住職の講話を聞いた。あわせて寺内の宝物を見学。10 年前に植えたハクモクレンがすっかり境内に生きづいていることにふれあった。

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

総会は柏樹代表幹事が挨拶（別項）し、天野事務局長が活動報告、決算報告を行った。あわせて 19 年度活動案として①山麓樹木見学会、②子どもの屋敷林で遊ぶ集い、③10 周年記念植樹会、④カイニヨ内掃除、⑤カイニヨづくりの提案・実行を提起した。

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

意見として「カイニヨ維持で困っている内容を調べ、それに応える提案をしたらよい」、「記念樹の植え付けをやるとよい」、「ホームページの活用はあるか」等が出された。全員で活動計画等を確認した。役員改選について「10 年もやってくると斬新さもなくなる。任期途中でも大いに交替していくことも考えよう」との意見もふまえ、出発することになった。

代表幹事：柏樹 直樹
幹 事：新藤 正夫、出村 忍、高多 康弘、金岡 奈穂子、
高畑 邦男（新）、小幡 良和（新）
事務局長：天野 一男
監 事：和田 健



浄光寺・吉沢住職の講話を頂く



砂田龍次・ミュージアム館長の講演を聞く

吉沢住職の講話

- ・10年前に植えた記念樹のハモクレンの横に酒だる茶室を作った。自然のもつあたたかさを感じている。
- ・この寺は22代目。天台宗から浄土真宗になった寺だ。
- ・仏の姿に「イン」と「ケイ」があり——拝むのは何を説法されているのかをいただくことにある。
- ・この寺は、横をむいた仏が鎮座されている。全国で20体しかない。
- ・「きく」－「きづく」これが真宗の教えだ。
- ・酒だる茶室に、庵と記した。—— は人間の心の一番深いところで納得したときの声。悟りの源。うなづく・教えられる意味だ。

砂田龍次 ミュージアム館長 「失われつつあるものへの魅力」講演

- ・県民性——①粘り強さ、②勤勉さ（教育熱心）、③他を思いやる心
- ・県民性を育てた要因——①水・雪・川・山との闘い、②売薬、③北前船
④教育環境、⑤報徳の精神
- ・散居のおいたち——水をとるため木を残し田を作った。
- ・「護天涯」この意味は、人の目の届かないところを守る意。
- ・円筒分水槽も分水の先人の知恵

■柏樹代表幹事の挨拶

- ・平成9年4月12日に発足し、11年目に入った。その活動内容を伝える会報も43号を数える。
- ・変わり映えない10年だったが、きっとカイニョは喜んでいるはずだ。
- ・また、地域でも社会的にも倶楽部活動が認知されてきた。
- ・もっと木と親しく付き合う人を多くする活動を続けることにしよう。

平成19年度 砺波カイニョ倶楽部総会資料



■平成18年度活動報告

平成18年

5月27日	総会	講演会（海外から観た散居村・寺田氏福光道の駅支配人）
8月12日	見学会	（南砺市 成川宅・石崎宅） 20名参加
9月7日	写生会	（庄南小学校4年生対象 講師・林清納先生）
11月25日	見学会	（富山市 竹島家・深山家・月岡神社） 17名参加

平成19年

4月7日	植樹会	（高畑宅） 35名参加
------	-----	-------------

■平成18年度決算報告（平成18年5月1日－平成19年度4月31日）

□収入

会費	74,000
寄付金	40,000（4名より）
例会残金	2,920（南砺市見学）
利子	70（県信出町支店）
繰越金	209,174（平成17年度より）
合計	326,164

□支出

総会費	7,360（お茶菓子）
例会費	64,925 （写生会18,200。富山見学37,000。植樹会9,725）
通信費	63,600（切手）
雑費	22,250（封筒21,000。タックル）
事務費	20,000（天野1.0 金岡0.5 高多0.5）
繰越金	148,029（平成19年度へ）
合計	326,164

■会計監査報告

5月8日に会計監査をしたところ、適切に処理されていたことを、ご報告致します。

監事 和田 健



■平成19年度 活動計画(案)

- 1) 総会 記念講演「散居とカイニョと人々」
砂田龍次氏（散居村ミュージアム館長） 5月20日
- 2) 砺波平野山麓近くの樹木を見る 7月
- 3) 市街地の子供達に屋敷林を案内する会 8月
- 4) 10周年記念植樹会（散居村ミュージアム） 10月
- 5) カイニョの掃除 10月
- 6) 屋敷林づくり（次代へのカイニョをめざして）平成20年3月